



アップストリームASの変更（Upstream AS Change）

・ [アップストリームASの変更（Upstream AS Change）](#)（1 ページ）

アップストリームASの変更（Upstream AS Change）

BGP オペレータは、アウトバウンドポリシー（たとえば、どのアップストリーム AS がプレフィックスを伝播できるか）によってピアリング関係を制御できます。このアラームは、プレフィックスを伝播しない既存のピアへのルートリークを検出します。ユーザは、許可されたアップストリーム ASN のリストを設定する必要があります。リストにないアップストリーム AS パスに1 ホップが残っている ASN を持つモニタ対象プレフィックスのアドバタイズメントは、違反アドバタイズメントです。



(注) 問題にすぐに対処できるように、問題（ルート情報の漏えい、または何らかのタイプの設定不備）を起こしている可能性があるピアを知っておくと役立ちます。[マイピア（My Peers）]ルールは、特定の Crosswork Cloud サブスクリプションでこのアラームに使用できます。 [c_subscription-plan-options.xml](#)[マイピア（My Peers）]オプションは、ピアからの BGP 更新のみに従いますが、[すべてのピア（All Peers）]はピアおよびグローバルピアからの BGP 更新に従います。 [ピアの追加](#)このオプションを設定するには、[Crosswork Cloud Network Insights](#)ポリシーの追加、

考えられる検出される問題

このアラームは、モニタ対象プレフィックスのルートリークを特定するのに役立ちます。

関連するアラームルールの設定

このアラームルールをプレフィックスポリシー設定に追加する場合は、次のオプションを設定する必要があります（[外部ルーティング分析（External Routing Analysis）]>[設定（Configure）]>[ポリシー（Policies）]>[ポリシーの追加（Add Policy）]>[プレフィックスポリシー（Prefix

Policy)]>[ルールの追加 (Add Rule)]>[アップストリームASの変更 (Upstream AS Change)] 。

- [しきい値](#)
- [許可されるアップストリームASN (Allowed upstream ASNs)]

例

[アップストリームASの変更 (Upstream AS Change)]アラームルールで許可されたアップストリームASN[293,1221]を使用してプレフィックスポリシーを作成し、プレフィックス8.8.0.0/24にリンクします。プレフィックス8.8.0.0/24は、ASパス[2711,1299,3356]を持つピアによってアドバタイズされます。AS1299は許可されたアップストリームASNではないため、しきい値が適用されて、アラームがトリガーされます。違反しているASパスを持つルートが取り消されるか、許可されたアップストリームASNのリストにAS1229が追加されると、アラームはクリアされます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。